

インターネット上の宗教情報に対する研究視角

黒崎浩行 (國學院大學)

hkuro@kokugakuin.ac.jp

はじめに: 「インターネットと宗教」研究史の概観と課題

- 1990 年代後半から始まる「インターネット上の宗教」研究の展開 [Højsgaard and Warburg 2005: 8]
 - 「第一の波」: サイバースペースの新奇性に焦点、技術決定論的。例: [Brasher 2001]
 - 「第二の波」: フィールドの多様化、新しい知見をより広い歴史的・社会的視座の中に位置づける。
- 「第二の波」の研究と知見:
 - 文化横断的視座: 既存の諸宗教がインターネット空間に移行する (online-religion ではなく religion-online [Helland 2000]) さいの違いは何によって生まれているか [Ess 2007] [Kawabata and Tamura 2007]。多くの宗教はメディア技術の進歩と矛盾しない (キリスト教、イスラーム、ヒンドゥー教) が例外も (神社神道における「尊厳」)。権威 (聖職者の位階、組織の構造、イデオロギー、テキスト) の補完・促進/革新・挑戦 [Cambpell 2007]。
 - 「宗教を信じていない人」、「宗教に対してネガティブな層」をも考慮に入れたコミュニケーション空間の設計についての実践的研究 [渡辺 2006]
 - 「情報テロリズム」あるいは「言葉の暴力」に対する宗教集団の反応の比較 [Introvigne 2005]: サイエントロジー教会 (法的手段に訴えて対抗) と崇教真光 (信徒にはインターネットを利用しないよう指示を受けるか、疑念を抱くことが霊的な問題であると捉え返される→ヨーロッパとオーストラリアで信徒数減少、日本とアフリカでは影響なし)。
 - 宗教社会学の教育・学習環境としてのホームページ運営 [Hadden 2000]: 授業の課題として、新宗教運動の各団体につき詳細なプロフィールとウェブサイトへのリンクを作成。インターネット上の宗教情報に接しつつ、それらへの批判的思考力や宗教の複数性、葛藤・論争状況を認識する機会にする。
 - 雑多なレベルの宗教情報が混淆した空間において現れる宗教的志向性の多様なあり方やダイナミズムをどうとらえるか?—本発表の課題。
- 「祈り」をめぐる混淆した宗教情報空間としてインターネット利用の現状を見る。
 - 祈願代行サービス: 願い主に代わって、合格祈願や安産祈願、宝くじ当選祈願など、祈願内容にゆかりのある有名社寺に参拝し、お守りやお札などの授与品を願い主に郵送。当該社寺との直接的な提携関係はなく、しかし有名社寺に実際に参拝することによって依頼者の信頼を得ている。
 - 神社界における「バーチャル参拝」「通信祈願」などへの批判的姿勢: 神社本庁「インターネットに関わる尊厳性の護持について」(2006 年 7 月) [黒崎 2006]

祈り (祈願) をめぐる志向性: 意識調査にもとづく探索的分析

- 祈りをめぐる志向性のモデル構築: インターネット利用者を対象とする意識調査の分析による。
 - 調査対象・方法: リソース型・属性絞り込み方式 [大隅 2002: 206] により、20 代・30 代・40 代の男女それぞれ 50 名、計 300 名を対象に実施。

- 質問全体の内容: 宗教への関心、生活意識、宗教・スピリチュアリティの態度など。
- Q5 「祈願についての考え方」への質問 (5段階選択式):
あなたは祈願についてどのようにお考えですか。以下の文についてのご判断を教えてください。
 1. 手を合わせると、神や仏などの存在が自分を見守ってくれていると感じる。
 2. 祈願の目的には現実的な幸福の追求も含まれるはずだ。
 3. 祈願をして現実に幸福になったり不幸が取り除かれるのは、全くの偶然だ。
 4. 人間は、神仏に祈らずにはいられない存在である。
 5. 神仏に祈願すると、不安やプレッシャーがやわらぐような気がする。

● 基本統計量

	平均値	標準偏差	分散
見守られている	2.90	1.158	1.341
現実的な幸福追求	3.71	.883	.780
偶然	3.05	.982	.964
祈らずにはいられない	3.42	1.020	1.040
不安がやわらぐ	3.27	1.039	1.079

- 主成分分析: 第2主成分までを得てバリマックス回転。累積寄与率 63.0%

	成分		共通性
	1(心の安らぎ志向)	2(現世利益志向)	
見守られている	.600	.424	0.540
現実的な幸福追求	.085	.666	0.451
偶然	-.118	-.829	0.701
祈らずにはいられない	.850	-.138	0.741
不安がやわらぐ	.760	.375	0.719
寄与率	43.3%	19.8%	

回転法: Kaiser の正規化を伴わないバリマックス法 (3回)

- 宗教への関心との関係: 分散分析

心の安らぎ志向と宗教関心区分

記述統計量

宗教関心区分	平均値	標準偏差	回答数
信仰者	0.312	1.141	37
非信仰・有関心者	0.221	0.904	71
非信仰・無関心者	-0.162	0.992	149
非信仰・嫌悪者	-0.072	0.951	43
総和	0.000	1.000	300

分散分析

要因	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
宗教関心区分	11.232	3	3.744	3.851	0.010
誤差	287.768	296	0.972		

現世利益志向と宗教関心区分

記述統計量

宗教関心区分	平均値	標準偏差	回答数
信仰者	0.507	1.122	37
非信仰・有関心者	0.204	1.077	71
非信仰・無関心者	-0.140	0.883	149
非信仰・嫌悪者	-0.290	0.951	43
総和	0.000	1.000	300

分散分析

要因	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
宗教関心区分	18.993	3	6.331	6.693	0.000
誤差	280.007	296	0.946		

インターネット上の宗教的志向性の理解に向けて

- 祈り（祈願）をめぐる二つの志向性モデル「心の安らぎ志向」と「現世利益志向」…両者は直交し、二項対立的・相互排他的なものではない。
- 二つの志向性のダイナミズムにおいて宗教情報空間としてのインターネット利用を見ることはできないか？
 - 入信動機と信徒のネットワークとの相関についての研究知見 [谷 1992] との接合。
 - 調査設計が今後の課題。

※本発表は、科学研究費補助金基盤研究 B「社会意識研究法としての言説データベースの構築とその利用—宗教言説を事例として—」（研究代表者：川端亮、課題番号 17330115）による研究成果の一部である。

参考文献

- Brasher, Brenda E. 2001 *Give Me That Online Religion*, San Francisco: Jossey-Bass.
- Campbell, Heidi 2007 “Who's Got the Power? Religious Authority and the Internet,” *Journal of Computer-Mediated Communication* 12(3), article 14.
<http://jcmc.indiana.edu/vol12/issue3/campbell.html>
- Ess, Charles 2007 “Cross-Cultural Perspectives on Religion and Computer-Mediated Communication,” *Journal of Computer-Mediated Communication* 12(3), article 9.
<http://jcmc.indiana.edu/vol12/issue3/ess.html>
- Hadden, Jeffrey K. 2000 “Confessions of a Recovering Technophobe: A Brief History of the Religious Movements Homepage Project,” in Hadden, Jeffrey K. and Cowan, Douglas E. (eds.), *Religion on the Internet: Research Prospects and Promises*, New York: Elsevier Science, 345-362.
- Helland, Christopher 2000 “Online-Religion/Religion-Online and Virtual Communitas,” in Hadden, Jeffrey K. and Cowan, Douglas E. (eds.), *Religion on the Internet: Research Prospects and Promises*, New York: Elsevier Science, 205-223.
- Helland, Christopher 2007 “Diaspora on the Electronic Frontier: Developing Virtual Connections with Sacred Homelands,” *Journal of Computer-Mediated Communication* 12(3), article 10.
<http://jcmc.indiana.edu/vol12/issue3/helland.html>

- Højsgaard, Morten and Warburg, Margit (eds.) 2005 *Religion and Cyberspace*, London: Routledge.
- Introvigne, Massimo 2005 “A Symbolic Universe: Information Terrorism and New Religions in Cyberspace,” in Højsgaard, Morten and Warburg, Margit (eds.), *Religion and Cyberspace*, London: Routledge, 102-117.
- Kawabata, Akira and Tamura, Takanori 2007 “Online-Religion in Japan: Websites and Religious Counseling from a Comparative Cross-Cultural Perspective,” *Journal of Computer-Mediated Communication* 12(3), article 12.
<http://jcmc.indiana.edu/vol12/issue3/kawabata.html>
- 黒崎浩行 2006 「インターネット文化のハイブリッド性と神社神道」『日本文化と神道』3: 59-79。
- 大隅昇 2002 「インターネット調査」林知己夫編『社会調査ハンドブック』朝倉書店、201-240。
- 谷富夫 1992 「新宗教青年層における呪術性と共同性（中）—崇教真光を事例として」『人文研究 大阪市立大学文学部紀要』44(10): 1-40。
- 渡辺光一 2006 「宗教とインターネットに関する実証的研究とその実践的含意—コミュニケーションとマーケティングの観点から」『宗教と社会』12: 3-35。